

実施計画事業管理表(個別計画に係る懇話会等で意見聴取するもの)に対する  
総合計画審議会委員からの意見・質問及び所管回答一覧

回答 所管名	実施計画事業名	個別計画に係る 懇話会等の名称	意見・質問	所管回答欄	管理表 (資料1) ページ
総務課	行政改革推進事業	逗子市行財政改革推進懇話会	主な事業内容の実施結果欄に、「行財政改革推進本部において、公共施設中長期配置構想に基づく施設整備の方針の内容を見直し、更新した。」とあるが、その結果をホームページ等で周知を図ったのならば、HPIに掲載した旨の記載をしてほしい。	結果について広報及び周知は行っていません。	3
生活安全課	男女共同参画プラン推進事業	ずし男女共同参画プラン推進会議	主な事業内容の、「DV被害者の緊急一時保護」、「ずし男女参画プラン策定検討委員会(改定)」に対応する記載がない。	一時保護は0件、策定検討委員会は26年度実施なしです。	7
			ずし男女共同参画プラン推進会議及び連絡調整会議の開催回数 の記載をしてほしい。	推進会議 5回 連絡調整会議 2回	
			女性相談の件数は、面接相談と電話相談に別けて記載することが望ましい。(計画との整合を図るため。)	面接 147件 電話 194件	

回答 所管名	実施計画事業名	個別計画に係る 懇話会等の名称	意見・質問	所管回答欄	管理表 (資料1) ページ
生活安全課	男女共同参画プラン推進事業	ずし男女共同参画プラン推進会議	<p>目標「市民意識調査における男女平等と感じる市民の割合が50パーセント以上となっている。」との対比で「目標が達成できなかった。」とされたのであり、男女共同参画社会へ向けての努力が不足しているとは考えられない。本市の担当者は十分努力を重ねていると考えられる。男女平等意識の形成はわが国社会全体の問題で、政府の政策やマスコミの報道等にも大きくかかわっていると考えられる。</p>	<p>【企画課】担当課に伝えました。</p>	7
			<p>『5年前とほとんど変化がなかった』とあるが、生涯学習推進事業の同欄には『市民意識調査は未実施』とある。整合を図って欲しい。</p>	<p>生涯学習推進事業に書かれている市民意識調査は「まちづくり」の調査ですので、男女共同参画社会に関する市民意識調査とは目的が異なります。</p>	
			<p>この事業での連続講座や講演会等の参加者実績を見ると 平成24年度8種延べ14回延べ242人参加 <math>242 \div 14 = 17.29</math> 平成25年度5種延べ9回延べ107人参加 <math>107 \div 9 = 11.89</math> 平成26年度8種延べ11回延べ206人参加 <math>206 \div 11 = 18.73</math> となる。講座や講演会等の目的や内容にもよるが、行政が予算を投じて実施する以上参加者予定数を見込むことが望まれる。検討すべき課題と考える。</p>	<p>今後検討します。</p>	
			<p>目標設定に関する問題は、今後の総合計画審議会でも継続的に検討すべき課題と考える。</p>	<p>【企画課】進行管理に関するご意見として承ります。</p>	

回答 所管名	実施計画事業名	個別計画に係る 懇話会等の名称	意見・質問	所管回答欄	管理表 (資料1) ページ
市民協働課	生涯学習推進事業	逗子市生涯学習推進懇話会	<p>意識調査をせずに目標が達成できた、納得できる理由が書いてない。プラン改定は目標ではない。生涯学習ガイドブックを配布する事で、「生涯学習に対する意識が高まりつつある」がどうして言えるのか？満足度も解らないはず。</p>	<p>総合計画策定に係るまちづくりに関する市民意識調査において、生涯学習に関する質問項目がはずされてしまったため、結果的に満足度調査を行うことはできなかった。また、経費や事務効率の面から単独で生涯学習に関する市民意識調査を実施する予定はなかったものである。講座参加者のアンケートによる声やガイドブックの活用度により意識が高まっているものと認識している。</p>	11
			<p>〈評価の区分〉で『目標が達成できた。』としたことには同意できるが、〈上記と判断した理由〉には若干の抵抗を感じた。目標設定に問題があったように思う。</p>	<p>満足度調査を行うことはできなかったが、講座参加者のアンケートによる声やガイドブックの活用度により意識が高まっているものと認識している。</p>	
			<p>上述の男女共同参画プラン推進事業の講座や講演会等の参加状況と比較するため単純計算すると、 平成25年度24種延べ104回延べ1,396人参加 <math>1,396 \div 104 = 13.42</math> 平成26年度28種延べ119回延べ1,345人参加 <math>1,345 \div 119 = 11.30</math> ずし楽習塾講座は有料講座と無料講座があり、有料講座の開催条件は参加申込者が6名以上となっている。無料講座では概ね30名以上の参加者がある模様。検討すべき課題と考える。</p>	<p>講座の参加人数は、内容によりその定員が決まるため、単純に参加人数をもって成果を比較することができないと考えている。多種多様な学習機会が提供されることをもって、生涯学習が充実度を測るべきと考える。</p>	
			<p>〈2011～2014の事業費〉の内、2014年度分は誤記と考えられる。資料記載のデータを基に計算すれば確かに887円になるが、毎年80万円程度の支出があるので、確認をしてもらいたい。</p>	<p>千円以下を記載しなかったことによる誤記。確認する。</p>	

回答 所管名	実施計画事業名	個別計画に係る 懇話会等の名称	意見・質問	所管回答欄	管理表 (資料1) ページ
文化スポーツ課	スポーツ振興事業	スポーツを楽しむ まち逗子推進懇 話会	スポーツの祭典を開催したことは分かるが、種目数や延べ参加者数(概数)の記載をしてほしい。	簡单体力測定、健康体操、競技種目体験、ミニ運動会等、21企画、参加延人数3,300人となっています。	15
			各種競技市民大会、駅伝、スポーツ教室等の具体的な実施状況(開催種目数、開催回数、延べ参加者数等)の記載をしてほしい。	市民大会等については、件数等多いため個別での記載は控えさせていただきました。市民大会は開催種目数:21種目、参加人数は延べ4,532人、地域対抗球技大会は開催種目6種目、市内駅伝大会は地域対抗16チーム、団体対抗27チームとなっています。	
			厳密に言えば、〈評価の区分〉で『目標が達成できた。』としたことに、問題があるように思う。『目標を達成できなかった。』とすべきと思う。目標設定に問題があったと考える。	次回の目標設定の参考にさせていただきます。	
文化スポーツ課	まちなかアカデ ミー創成事業	逗子市文化振興 基本計画策定等 検討会	平成25年度の記載と比較して、具体性に欠ける。〈目標達成状況〉には「まちなかアカデミー学部事業、プラットフォーム事業実施した。」とあるが、講座数、延べ回数、延べ参加者数のどの記載が望ましい。	平成26年度の学部事業はNPO団体が独立採算で実施し、市の予算では実施していないため割愛いたしました。実施講座は世界とつながろう学部を4講座全9回実施しました。	19
			「おもな事業内容」欄には、「生涯学習体験工房の整備(旧野外活動センター改築等)」の記載があるが、これに対応する実施結果の記載が無い。	生涯学習体験工房の整備については、平成24年度より関係各所の調整結果、費用、整備内容、その後の維持管理に問題があり、平成26年度は進捗していない状況にあります。	

回答 所管名	実施計画事業名	個別計画に係る 懇話会等の名称	意見・質問	所管回答欄	管理表 (資料1) ページ
文化スポーツ課	まちなかアカデ ミー創成事業	逗子市文化振興 基本計画策定等 検討会	目標設定に問題があったように思う。	計画策定時は、実施団体、規模、内容等、 検討から始めることとしていたことから、こ のような開設するという目標にせざるを得ま せませんでした。	19
			「まちなかアカデミーが開設される。」という目標は、平成24年度 に達成できている。具体的な活動を予定しての目標設定だった と思うが、目標設定の表現に問題があったのだと思う。	計画策定時は、実施団体、規模、内容等、 検討から始めることとしていたことから、こ のような開設するという目標にせざるを得ま せませんでした。	
文化スポーツ課	文化プラザホール 管理運営事業	逗子市文化振興 基本計画策定等 検討会	「主な事業内容」と実施結果の表現が異なるため、評価が困難 である。	平成26年度より指定管理者制度に移行した ため、計画立案時に目標、事業内容につい て大きな変更が生じました。そのため記載 の仕方に変更を加えざるえませんでした。 ただ、指定管理業務にはホールの貸館及 び維持管理と自主事業運営を含めているた め、指定管理業務をモニタリングすること によって主な事業内容の実施状況もわかるよ うになっています。	23
			利用率の定義が必要である。	利用率については利用可能日数中の実際 に利用があった日数にて算出しています。	
			平成26年度の目標は「文化プラザホールの高い利用率を維持 する」とあるが、高い利用率の定義が不明確であるため、評価 が困難である。平成25年度までの利用率は有効数字2桁である が、平成26年度は有効数字が1桁であることは好ましくない。	ご指摘の平成26年度の評価は平成23～26 年度の押し並べての評価になるため、平均 の数値として有効数字1ケタにまとめまし た。ご指摘の件については、今後の記載時 に検討します。	
			大規模施設の利用状況の表現方法は、今後検討が必要と考える。 。	【企画課】進行管理に関するご意見として承 ります。	

回答 所管名	実施計画事業名	個別計画に係る 懇話会等の名称	意見・質問	所管回答欄	管理表 (資料1) ページ
文化スポーツ課	文化振興事業	逗子市文化振興 基本計画策定等 検討会	アートフェスティバルの規模(参加団体・種目数、参加者数など)、手づくり絵本講座の延べ参加者数など、具体的な記載をしてほしい。	アートフェスティバル:会場数22、企画数73、来場者数は延べ約52,600人 手作り絵本講座:3回実施、定員30名、参加者30名(応募者多数のため抽選)となっています。	27
			市民意識調査は5年ごとに実施している。目標設定の際このことに留意しなかったことが進行管理の障害になっている。今後の検討課題である。	市民意識調査は、市民対象のサンプル調査のため目標は妥当なものと考えていました。今後は実施の際に項目等について事前に確認調整するよう努めます。	
			平成26年度の評価(上記と判断した理由)欄の記述は、当事者間では十分に理解できる内容と考えるが、部外者には難解である。部外者に理解できるよう訂正してほしい。	「目標の市民意識調査は実施できなかったが、文化振興基本計画の重点事業に則った主な事業内容は拡大して実施されたため。」に変更します。	
文化スポーツ課	学校体育施設開放事業	スポーツを楽しむまち逗子推進懇話会	『逗子市立小・中学校の体育館及び運動場の利用団体への開放は予定どおり実施した。』とあるが、予定の具体的な記載が無い。高額の予算を費やしている事業であるから、利用団体の実数、開放の延べ数など具体的な実績の記述をしてほしい。	実績は5小学校、3中学校実施しました。体育館の利用時間は6,552時間、利用人数は延べ43,400人でした。運動場利用時間は1,839時間、利用人数は延べ19,025人となっており、合計で8,391時間、延べ62,425人になりました。	31

回答 所管名	実施計画事業名	個別計画に係る 懇話会等の名称	意見・質問	所管回答欄	管理表 (資料1) ページ
社会福祉課	地域安心生活サ ポート事業	逗子市福祉プラン (逗子市地域福祉 計画)・逗子市地 域福祉活動計画 懇話会	計画の「マップの更新」に関して、記載をしてほしい。	地域における見守り等支援体制の構築に 向けた取り組みが開始している地区を地図 上に落とし込んだ「マップ」を更新した。地域 や関係団体・機関等に対する取り組みの周 知・啓発の際に利用している。	35
			目標設定が具体的でなかったように思う。「全市域(38地区)のう ち、●●%以上で取り組みが開始されている。」というような表現 がよかった。しかし、平成26年度の評価(上記と判断した理由) 欄の記述から、『目標が達成できた。』とする自己評価は概ね妥 当であると考えている。	今後の地域福祉推進に係る様々な事業に おいては、具体的な目標設定と、それに基 づく進行管理に努めたい。	
			直接進行管理に関するのではないが、本事業のように各地域 を相手とする事業は容易な作業ではないと考える。それぞれ の地域の特性や窓口となる人物によって対応が異なるからであ る。こうした交渉で得られた様々な情報やノウハウを蓄積し、 市職員間の共有財産とする工夫が必要であると考えている。	本事業は逗子市社会福祉協議会(社協)に 委託し実施した。地域福祉を推進する上 で、様々な情報やノウハウを蓄積し、地域と の関係性を築いた社協職員と、今後も情報 共有・連携に努めたい。	

回答 所管名	実施計画事業名	個別計画に係る 懇話会等の名称	意見・質問	所管回答欄	管理表 (資料1) ページ
障がい福祉課	療育・教育の総合 センター整備事業	逗子市障がい者 福祉計画策定等 検討会	記載に具体性が欠けるため、実績の実態が把握できない。通園事業、療育相談の実態(対象実人員、参加状況 / 延べ数など)を記載してほしい。	平成26年度の通園事業の実績は、在籍児童数21人(児童によって週1回～2回程度)、延べ参加回数は954回。  平成26年度の療育相談室の実績は、延べ相談件数4319件、平成26年3月の相談実人数は248人。	43
			計画の「主な事業内容」欄にある「新療育システムの運営」に関する実施結果の記載がない。療育・教育の総合センターが開設されれば、当然その管理・運営が必要になる。一般的には、「新療育システム」と明記してあるので、総合センターの管理・運営以外の部分が存在するように理解守る。説明が必要と考える。	新療育システムについては、療育・教育の総合センターが開設された場合に、センターにて実施される仕組みであるため、センター開設前においては実施されない。ただし、新療育システムの内容については、(仮称)療育・教育の総合センター基本構想・整備計画の中で基本的な方向性が示され、具体的な事項については、センターの開設に向けてさらに検討を進めていく状況である。 (意見・質問の「理解守る」は、「理解する」という意味とのこと。(企画課確認))	
介護保険課	介護予防事業	逗子市高齢者保健福祉計画懇話会	事業カルテの記載から元気な高齢者率が年々低下していると読み取れる。年々高齢者数が増加し、また医療技術の進歩で長寿命化が進んでいるので、これが原因かも知れない。可能ならば、年齢別・性別の元気な高齢者率の一覧表などが作成され、対象者に配布されると、健康維持の意欲増進に役立つとも考える。	元気な高齢者に対し、日常生活機能についての調査票「基本チェックリスト」が3年ごとに届くようにし、また、介護予防に資するパンフレット等を送付し、健康維持等について周知に努めています。	47

回答 所管名	実施計画事業名	個別計画に係る 懇話会等の名称	意見・質問	所管回答欄	管理表 (資料1) ページ
介護保険課	福祉給食サービス	逗子市高齢者保健福祉計画懇話会	<p>配食数が年々減っているが、理由は？「配食サービスが必要な方に対し・・・」の必要な方の抽出？確定？はどのように行っているのか？「100%出来ている」と有るが、必要なのに、この制度を知らない人などはいないのか？</p>	<p>市委託事業者以外の配食サービスへの需要が逡増していると考えられます。必要な方へは地域包括支援センターやケアマネジャーがアセスメントを行い、市の判断の一助としています。また制度については、市や関係機関で、必要とされる世帯に対し、周知に努めています。</p>	51
			<p>目標に「必要とされる世帯に対して100パーセント提供できている」とあるが、必要とされる世帯数(及び対象者数)が明示されていない。従って、第三者として、『目標が達成された』と認定することは困難である。</p>	<p>対象となる利用者実人数は、平成25年度末が101人、平成26年度末は77人です。</p>	
			<p>直接進行管理に関することではないが、本事業は先年の『事業見直し』の際、指摘した事業であり、そのことに因って平成25年2月以降、配食業者に事業委託となった。その効果は以下の通りである。(極めて荒っぽいが、次の式で単価を求め、年度ごとに比較してみた。決算額÷配食数=1食当りの価格 円未満四捨五入)  平成23年度 <math>20,214,380 \div (13,309+92) = 1,508</math>円  平成24年度 <math>15,801,470 \div (11,431+83) = 1,723</math>円  平成25年度 <math>2,881,295 \div 8,445 = 341</math>円  平成26年度 <math>2,190,249 \div 5,970 = 367</math>円  平成23・4年度は、事務経費を含むから、実際の食材費は半額程度だったと記憶している。  なお、『事業見直し』時点の際の説明では、利用者から負担金として1食当りの食材費500円と配送費100円(1世帯当り)を徴収していた。また、配送費は市費から1世帯当り100円を支出していた。  次年度以降の進行管理に当たっては、この事業のように利用者から負担金を徴収する場合の扱いに関して、予め方針を明確にしておく必要を感じた。</p>	<p>【企画課】進行管理に関するご意見として承ります。</p>	

回答 所管名	実施計画事業名	個別計画に係る 懇話会等の名称	意見・質問	所管回答欄	管理表 (資料1) ページ
介護保険課	生きがい推進事業	逗子市高齢者保健福祉計画懇話会	<p>逗子市は高齢化が進んでいるのに対し、助成対象者約28,000人が変わらないのはなぜか？助成対象の年齢になってた人が、知らなくて増えてないなど、周知方法に問題の可能性はないのか。</p>	<p>利用可能な市内の施設が1つであるため、利用者の急増に結びつきにくいと考えていますが、今後も、市広報紙や市内掲示版、ホームページ等で周知に努めます。</p>	55
			<p>計画目標と実績の対比という視点からは、特段の問題はない。しかし、行政として、公平な施策の展開という見地からすると、公衆浴場入浴助成に関して、対象者数と利用者数を示すべきと考える。また、利用者募集の方法も記載すべきだと思う。</p>	<p>対象者数は市ホームページ(社会福祉課)で公開していますので、申込方法の記載の要否とあわせて検討します。</p>	

回答 所管名	実施計画事業名	個別計画に係る 懇話会等の名称	意見・質問	所管回答欄	管理表 (資料1) ページ
子育て支援課	子育て支援センター運営事業	子ども子育て会議	<p>計画目標と実績の対比という視点からは、妥当であると考えられる。ただし、目標が[地域での育児がゆとりをもって楽しめる環境で実施されている]とやや情緒的な表現であるため、目標が達成できだか否かの判断は難しい。</p>	<p>客観的な指標を示すことは難しいと考えられる。来所者数の比較や相談件数の増減を一つの目安としている。子育てに関する相談を桜山の子育て支援センターの他、小坪、沼間の親子遊びの場で週1回巡回相談を開催し、利用者数も増加し環境整備も出来、市民の利用も定着してきている。</p>	59
			<p>本事業のように福祉関係の支援事業では、支援を必要とする方々すべてにサポートの手がさしのべられることが理想である。そのため事業の対象となる階層(乳幼児を育児中の保護者(場合によっては母親だけでなく父親や祖父母等も))の人数(M)、その内支援を必要とする方々の人数(A)の把握、そして実際の参加者実数(B)、との比B/A が1に限りなく近くなることが望まれる。また A/M は支援を必要とする方々の割合(仮に支援の必要率とする)であり、こうした割合が福祉関係の様々な支援事業の指標となると思う。</p> <p>また、本事業では繰り返し参加する方(いわゆるリピーター)が存在すると思う。本事業の参加者数はリピーターを含んだ延べ数である。参加者の実数万上の(B)に相当する。</p> <p>本事業のような支援事業では、支援を必要とする方々すべてにサポートの手が届くことが公平である。従って、支援を必要としても参加ができない方々の要因分析や、それに基づく施策を検討しなければならないと思う。</p>	<p>子育てに関する様々な相談が身近にできる施設として、子育て支援センターを設置している。支援を必要としている市民の把握については、乳児訪問や乳幼児健診等、様々な機会を捉えて把握できるように努めている。</p>	

回答 所管名	実施計画事業名	個別計画に係る 懇話会等の名称	意見・質問	所管回答欄	管理表 (資料1) ページ
子育て支援課	小児生活習慣病 予防事業	逗子市母子保健 計画策定等検討 会	H25年の所管回答に④各学校との協議を引き続き行うとあったが、その結果の記載が無い。なぜ夏休み中の受診なのか、学校の身体測定などの時に4年生だけプラスで行えないのか？	学校の身体測定時に同時に検査を行う、と のご提案ですが検査項目に「採血」が含ま れるために医師の指示、採血可能な職種 の確保など学校保健法で行う身体測定と同 時に行うにはいくつかのハードルがありま す。今後も引き続き課題の解決に向けて調 整を行って参ります。	63
			目標では受診率が85%であり、実績は75.5%から 71.7%と年々 低下している。この状況で「目標が達成できた」とすることは納得 し難い。このような事業では、小学校 4 年生の総数 (M)、予防 健診の対象者数 (A)、健診受診者数 (B) を明記することが望 まれる。A/M が健診必要率、B/A が受診率である。本事業の 直接の目標は B/A が限りなく1に近づくことであるが、遠い目 的は A、従って A/M が限りなく0に近づくことであろう。また、A 、Bが共に2桁程度の数である場合は、Bの1、2名の変化が B/Aに大きく影響するため、上述のような見解となった。	当健診では対象を小4児童全員を対象にし ていますのでお示し頂いた形では (M) = (A)、受診率は (B) / (M) としています。 実際の未受診者リストを見ますと健診の受 診が困難な要因がいくつか見られ、今後は そのような対象者を除外する要件を検討し (A)を算出する必要性もあるかと考えており ます。 受診率は H.24 69.86% H.25 73.15% H.26につきましては確定値ではありません が72%程度になります。	

回答 所管名	実施計画事業名	個別計画に係る 懇話会等の名称	意見・質問	所管回答欄	管理表 (資料1) ページ
保育課	放課後児童クラブ 事業	子ども子育て会議	<p>目標と目標に対する実績の範囲では「目標が達成できなかった」の評価は妥当である。ただし、放課後児童クラブ事業そのものは「概ね目標が達成できている」と考える。</p>	<p>【企画課】担当課に伝えました。</p>	67
			<p>本事業は高額の予算で運営されているが、全く数値の記載がない。事業対象学年児童の総数(M)と参加希望(あるいは参加を必要とする)児童の数(A)の比 A/M(希望率あるいは必要率)の明示、及び、開催日数、出席者延べ数、出席率などのデータの明示が望まれる。</p>	<p>○放課後児童クラブの利用を希望する率: (A)/(M) = 11.52% (M):平成26年5月1日現在の市立小学校児童総数 2,674人 (A):平成26年5月1日現在の放課後児童クラブ入所児童総数 308人 ○平成26年度放課後児童クラブ開催日数 293日/年(月平均24.42日) ○平成26年度放課後児童クラブ出席者延数 49,476人/年(月平均4,123人) 他のデータの取り扱いは今後の検討課題といたします。</p>	
			<p>事業の進行管理は個々の事業の評価にとどまらず、全事業のバランスという視点も必要であると考えます。</p>	<p>【企画課】進行管理に関するご意見として承ります。</p>	

回答 所管名	実施計画事業名	個別計画に係る 懇話会等の名称	意見・質問	所管回答欄	管理表 (資料1) ページ																		
児童青少年課	ほっとスペース事業	子ども子育て会議	<p>この事業カルテは、目標達成の観点からのみで記載されている。このため事業実績が判らない。平均値を記載するためには、その基礎となる開催箇所ごとの開催日数及び参加者延べ数の明記をしてほしい。</p>	<p>平成26年度実績(利用者数は延べ)            逗子ほっと            開設日 104日 利用者数3,322人            久木ほっと            開設日 69日 利用者数1,208人            小坪ほっと            開設日 141日 利用者数2,984人            沼間ほっと            開設日 145日 利用者数3,658人            池子ほっと            開設日 274日 利用者数10,755人</p>	71																		
			<p>&lt;判断した理由&gt;欄に「ほっとスペースの利用者も増加した。」とあるが、それを裏付けるデータの記載をしてほしい。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>25年度実績</th> <th>26年度実績</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>逗子ほっと 3,061人</td> <td>3,322人</td> <td>+261人</td> </tr> <tr> <td>久木ほっと 1,470人</td> <td>1,208人</td> <td>△262人</td> </tr> <tr> <td>小坪ほっと 2,828人</td> <td>2,984人</td> <td>+156人</td> </tr> <tr> <td>沼間ほっと 3,455人</td> <td>3,658人</td> <td>+203人</td> </tr> <tr> <td>ほっと計 10,814人</td> <td>11,172人</td> <td>+358人</td> </tr> </tbody> </table>		25年度実績	26年度実績	増減	逗子ほっと 3,061人	3,322人	+261人	久木ほっと 1,470人	1,208人	△262人	小坪ほっと 2,828人	2,984人	+156人	沼間ほっと 3,455人	3,658人	+203人	ほっと計 10,814人	11,172人	+358人
			25年度実績	26年度実績		増減																	
逗子ほっと 3,061人	3,322人	+261人																					
久木ほっと 1,470人	1,208人	△262人																					
小坪ほっと 2,828人	2,984人	+156人																					
沼間ほっと 3,455人	3,658人	+203人																					
ほっと計 10,814人	11,172人	+358人																					
<p>この事業カルテに限らず、かなりのカルテでは行政評価(進行管理)の意義が十分理解されない段階で目標が設定され、それに基づいて最初の実施結果が記述されようと思う。次年度以降の実施結果の記述は最初の記事を踏襲する傾向が強いように感じた。次回の進行管理部会では、この反省に立ち、事業カルテ作成担当者に対し予め進行管理の目的、望ましい記述内容等の徹底を図ることが望まれる。</p>	<p>【企画課】進行管理に関するご意見として承ります。</p>																						

回答 所管名	実施計画事業名	個別計画に係る 懇話会等の名称	意見・質問	所管回答欄	管理表 (資料1) ページ
児童青少年課	親子遊びの場整備事業	子ども子育て会議	<p>補助金は、資金の乏しい民間団体が事業に着手する際、事業の運営を支援するため一定期間に限って補助することが目的である。従って、予め補助の期間を定めておく必要がある。また、本事業の根拠となる要項等の欄が空欄であり、募集方法も不明である。特定の団体に限って4年間補助金を支出することは、公平の観点からいささか疑問に感じる。また、特定団体との関係に疑問を持たれるような危険も感じた。</p> <p>各団体ごとの開催日数、延べ参加者数などのデータの記載が望ましい。</p>	<p>当該補助金については、「逗子市親子遊びの場づくり活動助成要綱」に基づき交付を行っているが、対象となる団体及び事業について補助要件が厳しいこともあり、この数年、新規団体による申請が行われなかったものと思われる。今後、補助要件及び補助期間の定め等含め要綱、募集方法について検討を行う。</p> <p>平成26年度実績 *団体名 実施回数 延べ参加人数(保護者・児童) 1) 葉っぱのひろば 12回 105人・113人 2) グループつながり 31回 344人・349人 3) 逗子おもちゃの図書館 12回 140人・139人 4) 子どもに遊びを伝える会 10回 157人・243人</p>	75

回答 所管名	実施計画事業名	個別計画に係る 懇話会等の名称	意見・質問	所管回答欄	管理表 (資料1) ページ
児童青少年課	ふれあいスクール 事業	子ども子育て会議	目標数でみれば確かに「未達成」であるが、全地域で行われている事や、児童減少の中、逗子市の全児童数×ふれスクが必要であろうとする人数の割合が7万人に近ければこれ以上の人数にするのは無理であり、理由欄にその旨記載して、「達成」としても良いのではないだろうか。	【企画課】担当課に伝えました。	79
			本事業は高額の予算で運営されてるが、事業規模を示す数値は延べ利用者数に限られている。本事業実施の根拠となる要項等の記載がなく、実施の方法は不明だが、申込制であると推測する。各実施箇所ごとの開催日数、申込者数、利用者延べ数等の記載をしてほしい。	平成26年度実績(利用者数は延べ) 逗子小ふれスク 登録者数791人 開設日283日 利用者24,901人 久木小ふれスク 登録者数570人 開設日284日 利用者14,504人 小坪小ふれスク 登録者数391人 開設日284日 利用者11,488人 沼間小ふれスク 登録者数533人 開設日283日 利用者数12,451人 池子小ふれスク 登録者数316人 開設日285日 利用者数9,089人 (逗子、小坪、沼間の各ふれスクは登録をしなくても利用可。学校から直接利用する場合は要登録)	
			進行管理の目的の一つに、行政が実施している事業(サービス)全体の調和についても考慮することがあるように考える。次期の総合計画審議会等で検討することが望まれる。	【企画課】進行管理に関するご意見として承ります。	
児童青少年課	児童館機能を有する施設整備事業	児童館的施設検討子ども懇話会	本事業の目標は、施設の整備及びその運営の二つである。平成26年4月に施設が開設された。運営の手段については記載されているが、利用状況(開館日数、利用申込者の実数、利用者延べ数等)の記載をしてほしい。	平成26年度実績 開設日 281日 利用者実数27,103人(イベント等除く) 内訳 幼児 5,420人 小学生5,922人 中学生4,401人 高校生2,564人 18歳以上8,796人 延べ利用者数31,647人(イベント等除く)	83

回答 所管名	実施計画事業名	個別計画に係る 懇話会等の名称	意見・質問	所管回答欄	管理表 (資料1) ページ
児童青少年課	児童館機能を有する施設整備事業	児童館的施設検討子ども懇話会	<p>〈判断した理由〉欄に「毎日、多くの利用者があり、各種イベント・講座においても順調に実施されている。」と記載するならば、その根拠となる利用者数、イベントの数、講座の種類とその実施延べ数等の明記が必要である。</p>	<p>平成26年度実績 事業参加内訳 ○イベント 計約8,700人 ・オープニングセレモニー(4月) 約500人 ・HAPPYスマイルフェスティバル(5・6月) 約3,000人 ・市民まつりwithスマイル(10月) 約2000人 ・オレンジリボンたすきリレー(10月) 約200人 ・子どもサイエンスフェスティバル逗子大会(11月) 約1,000人 ・スマイルまつりwithスポーツの祭典(11月) 約2,000人 ○講座(利用者数は延べ) ・リコーダー教室(初級)22回 108人 ・リコーダー教室(上級)22回 125人 ・書道教室 2回 110人 ・将棋教室 10回 61人 ・キッズジュニアダンス教室(園児) 5回 61人 ・キッズジュニアダンス(初級) 5回 51人 ・おもしろ科学実験教室 17回 190人 ・ふろしきラッピング講座 1回 9人 ・写真講座 2回 13人 ☆逗子市文化協会委託講座 ・囲碁体験講座 10回 59人 ・いけばな体験教室 3回 28人 ・かんたんアート体験教室 5回 85人 ・ダンス体験教室 6回 93人 ・日本舞踊教室 6回 39人 ・バレエ体験教室 5回 70人 ・和楽器体験教室 6回 41人 ☆逗子市体育協会委託講座 ・卓球体験教室 5回 40人 ・バドミントン体験教室 5回 86人 ・合気道体験教室 5回 47人</p>	

回答 所管名	実施計画事業名	個別計画に係る 懇話会等の名称	意見・質問	所管回答欄	管理表 (資料1) ページ
環境管理課	温室効果ガス削減 事業	逗子市環境審議 会	<p>目標値がいくつなのか不明だが、H24,H25年は基準年度比で「増」となっているのに評価が「達成」は理解できない。H26年は基準年度比の記述がない。また、理由欄の一般廃棄物焼却が60.3%増と有るが、逗子広報の表紙(3月まで)に燃やすごみ前年度比約100トン減とあり、減っているはずではないのか。</p>	<p>ご指摘のとおり、平成24,25年度は温室効果ガス削減目標を達成していませんが、平成26年度から、新たな支援制度である住宅用スマートエネルギー設備等導入費補助制度を開始したこと、また、一般廃棄物焼却に伴う排出を除く、電気使用その他の事務事業に基づく排出は基準年度比15%以上削減していることから、事業全体の評価として、目標達成としています。</p> <p>なお、一般廃棄物焼却に伴う温室効果ガスの排出量については、焼却する廃棄物内のプラスチックの割合による影響を大きく受けます。ご指摘のとおり燃やすごみ自体は減少していますが、基準年度における焼却する廃棄物内のプラスチックの割合が異常に低いため、温室効果ガスの排出量は、基準年度に比べ大幅に増加していることになっています。</p>	87
			<p>本事業の目標は「地球温暖化対策実行計画の目標が達成されている」と「新たな支援制度による支援が実施されている」の2本立てである。しかし、前者の実行計画の目標が明示されておらず、また、目標が達成されか否かの記述もない。後者に関しては、関係する記述が見られる。従って、目標が達成できたか判断しにくい。</p>	<p>逗子市地球温暖化対策実行計画では、平成19年度比6%削減を目標としており、平成25年度の実績値は基準年度比6.6%増となっております。</p> <p>なお、平成26年度実績は本年7月頃に算出予定です。</p>	

回答 所管名	実施計画事業名	個別計画に係る 懇話会等の名称	意見・質問	所管回答欄	管理表 (資料1) ページ
環境管理課	温室効果ガス削減 事業	逗子市環境審議 会	<p>主な事業内容は3本立て、第1の支援の実施に関しては具体的な実施結果が示されているが、残りの2本に関しては単に「推進した」との記述だけで具体性に欠ける。従って、計画に沿った結果や実績になっているか否かについては、判断しにくい。</p>	<p>逗子市地球温暖化対策実行計画では、平成19年度比6%削減を目標としており、平成25年度の実績値は基準年度比6.6%増となっております。</p> <p>削減目標を達成していませんが、平成26年度から、新たな支援制度である住宅用スマートエネルギー設備等導入費補助制度を開始したこと、また、一般廃棄物焼却に伴う排出を除く、電気使用その他の事務事業に基づく排出は基準年度比15%以上削減していることから、事業全体の評価として、目標達成としています。</p>	87
			<p>〈判断した理由〉の記述は、部内向きあるいは専門家向きの内容と表現であり、一般市民には理解しづらいと思う。</p>	<p>ご意見を踏まえ、今後はより分かりやすい記載となるよう記載方法を工夫します。</p>	
			<p>本事業のような極めて専門的な事業に関するカルテの作成は、事前に十分な検討と調整が必要であることを徹底すべきである。</p>	<p>【企画課】進行管理に関するご意見として承ります。</p>	
まちづくり課	計画的なまちづく り推進事業	逗子市まちづくり 審議会	<p>目標3項目の内、第1項目関連の「まちづくり基本計画見守り隊の活動」に関する記述は「活動を支援した」とあるだけで、具体性に欠ける。</p>	<p>具体的な支援内容は、活動支援補助金の交付(平成26年度を持って廃止)及び、活動に係わる情報提供等。</p>	91
			<p>目標3項目の内、第2・第3項目関連の記述は概ね妥当である。</p>	<p>【企画課】担当課に伝えました。</p>	
			<p>本事業のように目標が複数ある場合の評価の方法について予め決定しておくことが望まれる。</p>	<p>【企画課】進行管理に関するご意見として承ります。</p>	

回答 所管名	実施計画事業名	個別計画に係る 懇話会等の名称	意見・質問	所管回答欄	管理表 (資料1) ページ
まちづくり課	景観のまちづくり 推進事業	逗子市景観審議 会	本事業の目的は、「良好な景観の保全・育成・継承」で、目標は3地区の景観計画の策定である。実施結果では計画の運用について記述されている。しかし、この記述は、断片的で、運用の全体像は見えてこない。	まちの景観に与える影響が大きい行為等（宅地開発や中規模以上の建築物、商店街沿いの建築物、屋外広告物）は、景観条例の手続き対象として、各重点地区の景観形成基準に沿った整備を行っている。	93
緑政課	里山活用事業	逗子市みどり審 議会	目標では「自然保全活動が年10回以上実施されている」となっているが、実施結果ではカウント可能な活動は4回で、「再生した田畑の維持管理」に関しては具体的な回数の記載がない。従って、妥当な記載とは言い難い。	記載スペースが限られていることから詳細は割愛したもの。観察会2回、湿地管理15回、田畑の整備50回（田植え体験など含む）、竹林の管理12回、シイタケ栽培4回、自然環境調査1回を実施している。	107
			〈判断した理由〉の記述に、「市民との協働による里山再生を予定どおり実施」とあるが、予定の具体的な記載がない。	主な事業内容に記載のある田畑の維持管理や管理伐採など自然保全活動を予定どおり実施したもの。	

回答 所管名	実施計画事業名	個別計画に係る 懇話会等の名称	意見・質問	所管回答欄	管理表 (資料1) ページ
緑政課	公園アダプト推進 事業	逗子市みどり審 議会	市内の公園の数を明示し、アダプトプログラムが実施されている 数との比率を示すことで、全体の状況が更に明確になると考え られる。	地区公園2箇所、特殊公園2箇所、近隣公 園3箇所、街区公園71箇所の合計78箇所 の公園があり、そのうち31箇所のアダプト 契約をしている。	127
社会教育課	古墳整備事業	国指定史跡長柄 桜山古墳群整備 検討会	行政側の施策に限らず、市民との協働の実態を明示されたこと は優れている。この事業の発足の経緯から市民側の協力が存 在していたと推測するが、積極的に掲載したことを評価します。	【企画課】担当課に伝えました。	131
社会教育課	名越切通整備事 業	国指定史跡名越 切通整備検討会	まんだら堂やぐら群の臨時公開を行っていると思うが、可能なら ば、日数、延べ見学者数などの記載をしてほしい。	まんだら堂やぐら群の公開は名越切通維持 管理事業で実施しているものですが、整備 の参考となる数値ですので、今後は記載し ます。年間公開日数及び延べ来場者数は、 平成25年度が50日、7,100人、平成26年度 が59日、6,415人です。	135